

この交換留学プログラムも半分が終わりました。Fall quarterの期末試験週間も秋休みも終り、今週からはWinter quarterが始まりました。秋休み中にはThanksgiving dayという祝日もありました。秋休みはカレンダーでは6日でしたが、私の場合、履修している科目は期末試験がなかったため期末週間も休みになり他の学生より早く休みを迎えました。Rose-Hulmanの期末試験は通常の時間割とは異なり試験週間の時間割で試験を行うようですが、今回は受けていないので期末試験の報告はWinter quarterで受けてから報告します。今月はfall quarterで受けた科目の詳しい授業の様子とThanksgiving dayについて報告したいと思います。

・ Fall quarterでの履修科目の様子

ME302 Heat Transfer

この科目は必修科目で、講義の内容は伝熱の基礎である熱伝導、対流、放射から始まり講義の後半ではこれらの応用である熱変換器や放射伝熱などについてでした。講義では実験ではなく計算を中心に行われました。3回行われた定期試験では、問題は数問で2回目の定期試験では計算式が長い問題が1つしかありませんでした。定期試験では教科書の持込が許可されており、教科書にある表から必要な数値などを取り出し、例題を参考にしながら解くことができました。

ME410 Internal Combustion Engines

この科目は選択科目で、講義の内容は内燃機関に使用されるサイクルの説明、各サイクルの動力や熱効率の計算方法などから始まり、排出ガスに含まれるそれぞれの種類のモル比の計算など、内燃機関に関する様々な計算方法と特徴などについてでした。講義ではエンジンの回転数の変化によるトルクやbsfcなど数値の変化の様子を1度見ただけで、後は各時間に配られるNoteを参考に進められていきました。講義ではEES (Engineering Equation Solver) というプログラムやColorado State University Websiteを使用しながら進められていきました。この講義では、受講している学生に各1回の5分から10分ぐらいのプレゼンテーションと4,5ページのWriting assignment、3回の定期試験がありました。プレゼンテーションでは、発音やうまく説明できているのかなど不安ばかりあり、Writing assignmentでも説明がうまくできていないか不安でした。3回の定期試験では計算問題と説明問題が複数ありました。この教科では教科書とNoteの持込とEESの使用が認められており、教科書とNoteを参考にし、解くことができました。

・ Thanksgiving day

日本語に直すと「感謝祭」という意味です。アメリカでは11月の第4木曜日がこの日に当たり、カナダにもあるようですが日が違うようです。この日は、家族や先祖など様々なものに感謝する日で、もともとはインディアンに感謝する日でした。私はこのとき友達の家滞りしており、その家族といっしょに過ごしました。アメリカでは大切な行事で、友達が祖母に電話をしていたりしていました。この日の食卓には七面鳥の丸焼やマッシュポテト、パンプキンパイなどがあり、美味しくいただきました。この日の夕食は各家庭で、ほとんど同じものだそうです。

以上で今月の報告を終わります。